

平成 27 年度東京都自立支援協議会第三回本会議全体会①概要

場所：東京都心身障害者福祉センター 三階第 2 研修室

【出席委員】

沖倉会長、高沢副会長、海老原副会長、伊野委員、岩浅委員、河井委員、柴田委員、古川委員、本多委員、山梨委員、山本委員、吉澤委員、和田委員

【欠席委員】

近藤委員、下川委員、鈴木委員、内藤委員、平川委員

開会

東京都心身障害者福祉センター所長挨拶 藤井所長

新規委員紹介 山本稲城市障害福祉課長

事務局(小林課長) 資料の確認

式次第

- 資料 1 第四期東京都自立支援協議会委員名簿・グループ別名簿（裏面）
- 資料 2 地域の相談支援において相談支援専門員・サービス管理責任者等に求められる視点、行動 ー支援プロセスに沿った整理ー
- 資料 3 平成 27 年度 東京都自立支援協議会セミナー実施報告
- 資料 4 都の研修が目指す相談支援専門員像（平成 27 年度相談支援従事者現任者研修資料）
- 資料 5 平成 27 年度 東京都自立支援協議会活動報告
- 資料 6 第四期後半の東京都自立支援協議会運営について（案）
- 資料 7 「平成 27 年度版 東京都内の地域自立支援協議会の動向」（案）
- 資料 8 都内における障害者虐待の状況
- 参考資料 1 計画相談支援 関連データ（都道府県別：実績 平成 27 年 9 月）
- 参考資料 2 計画相談支援 関連データ（区市町村別：実績 平成 27 年 9 月）
- *その他 本日のグループ討議の進め方

議事

沖倉会長 皆さんこんにちは。議事を進めてまいりたいと思います。まず、報告事項を事務局よりご説明お願い致します。

小林課長(事務局) それでは資料 3, 4、先日開催されました協議会セミナーについて、資料 5 で今年度の活動報告について説明します。

資料 3 セミナーの実施報告でございます。12月11日都庁大会議場にて今年度も400名を超える方にご参加いただきました。

テーマを「求むこんな支援者」ー障害者(児)相談支援充実のためにーとしまして、第 1 部の話題提供で、都の相談支援者研修の検討にたずさわってこられた今村まゆらさん、障害当事者の福田暁子さん、協議会から高沢副会長にお話をいただきました。第 2

部では厚生労働省相談支援専門官の鈴木専門官と沖倉会長により、第1部の話題提供を受けまして、対談形式で進めました。

第1部話題提供者、1番目は今村まゆら氏の内容です。都の相談支援者研修の企画運営にたずさわってきた立場から、研修プログラムを検討するにあたって相談支援専門員の基本姿勢、大切にしてきた考え方がどのようなものか、そして都の研修でどういう相談支援専門員の育成を目指しているのか、ということについてご紹介いただきました。他に、現在、課題と感じられておられること等もお話いただきました。ここでは、資料4、都の研修でどのような相談支援専門員の養成を目指しているのか、専門員像についてご紹介したいと思います。

都の研修におきましては、三つの基本姿勢と七つのスキルを相談支援専門員に求めています。

基本姿勢につきましては、

- ①本人の思いや願いに沿い、あたりまえの生活を支える、本人中心の支援を行えるということ
- ②障害を社会の状況、環境との関係の中で理解し、捉えることが出来ること。
- ③フィールドとする東京都及び区市町村の地域性の把握と地域福祉の向上に努め続けることが出来ること。

そして、実現するための七つの必要なスキルとして、

- ①信頼関係を構築する力。
- ②基本的面接技術。
- ③ニーズを明確にするアセスメント力。
- ④わかりやすい計画立案。
- ⑤サービス提供者等との協働する力。
- ⑥個別支援で課題を協議会ネットワークを活用して積極的に発信、共有。
- ⑦いまだ出会っていない支援を必要としている存在を想像できること。

今村さんからは、この基本姿勢等が何度も検討され、修正され続けているものだとご紹介がありました。

続きまして、当事者の立場から、福田暁子さんからのお話の概要になっております。福田さんはご自身も盲ろうの障害者で、武蔵野市自立支援協議会の障害当事者部会の会長として様々な当事者の声を集めておられる立場でもあります。当日はその経験を踏まえて、相談支援従事者に求めることをお話いただきました。

- ・障害当事者から見ると相談支援そのものが良くわからないということ。
- ・それと相まって、新しい人間関係に入っていくためには自分が何者であるか、相談支援専門員はどういう立場のものなのか、これを説明していくことが大切。
- ・求める相談支援技術として、相手に合わせること、わかりやすい方法で提示、そして聞く姿勢では待つこと、沈黙も大切。

- ・相談支援専門員は相談に乗るだけでなく、相談できる人であってほしい。

具体的には、

- ・相談支援専門員から本人や他の支援者に相談できる人であってほしい。
- ・本人に相談ということについては、自分の知らないところで自分のことで何か動いていることは嫌だ。
- ・他の支援者の相談という部分については相談支援専門員として、自分の限界を知ること。
- ・継続性のある支援を心掛けることが必要

との指摘がありました。そして、最後に、本人か、支援者か、誰かひとりあきらめなければ何とかなるというお話がありました。

そして、話題提供の最後に高沢副会長より、当協議会の取り組みを中心にお話いただきました。これにつきましては、ここで検討している内容でございますので、ご紹介は割愛致します。

第2部について、沖倉会長との対談では、鈴木専門官から、ご自身が相談支援専門員をなさっていた経験を踏まえ、また相談支援にかかる制度の運営、検証等を行っておられる立場から、個々の相談支援専門員、組織としての事業所、地域としての区市町村、都道府県にそれぞれどのような役割を求めるといふ観点でお話いただきました。抜粋してご紹介しますと、個々の相談支援専門員に対しては、この相談員に関わってもらって良かったと思ってもらえるか、プランが報酬額に見合っているか、プランの成果としてこう変わったというものがあるかどうか、という観点を持ってほしいということ。都道府県に対しては、都道府県の区市町村格差の確認、分析、各地域の自立支援協議会の取組みのバックアップ等が必要だということ。セミナーの報告につきましては、雑駁でございますが以上です。

続きまして、資料5についてご説明させていただきます。

今年度当協議会の活動をまとめたものです。今年度は第四期のテーマ、相談支援専門員を中心とした地域の相談支援体制を考える、検討していくにあたり、どのような人材を育てていくのかを協議事項として選定し、ワークシートを活用し、討議を進めてまいりました。本会議3回、地域自立支援協議会交流会1回、セミナーを1回を開催するとともに、冊子「平成27年度東京都内の地域自立支援協議会の動向」、いわゆる動向集の骨子案について検討を進めてまいりました。

沖倉 ありがとうございました。それでは、次に、事務局より、グループ討議の進め方について説明いただきたいと思えます。

小林 それではグループ討議の進め方という資料と資料2ワークシートをご用意いただければと思います。主にグループ討議の進め方の資料で説明させていただきます。今年度の協議会ではどのような人材を育てていくかを協議事項といたしまして、障害者(児)ケアマネジメントの過程における相談支援専門員・サービス管理責任者等に求められ

る視点行動の資料2ワークシートの作成作業を行い、相談支援専門員の持つべき力量について、議論を進めてまいりました。本日はこれまでの本会議の協議、交流会、セミナーの参加者からの意見をワークシートに分類、整理したものを基に、討議していただきたいと思っております。その補足討議での方法でございますがグループ、シートを二分割いたしまして、1グループ、2グループでそれぞれ分担し、ご検討いただければと考えております。1グループ、高沢副会長に進行をお願いするグループにおきましては、ワークシートの「連携」の部分と、ケアマネジメントの各過程における部分の、ケアプラン・サービス決定から終結・移行までのご検討をお願いしたいと思っております。

2グループ海老原副会長をお願いする部分につきまして、エンパワメントとインタークからアセスメントの部分をお願いしたいと考えております。

各グループで其々担当していただく部分につきましては、相談支援専門員が持つべき力量について網羅しているかどうかという観点から、①視点行動の加除、修正、②表現が抽象的でわかりにくい個所の修正、③並べ替え、重複の排除等を行っていただければと考えております。今回お配りしていますシートは事務局で、上記②、③の作業は一定程度行っております。整理するにあたり、議論、確認が必要な部分についてはアンダーラインが引いてあったり、視点のみで行動がないものにつきましては、視点の後の箇条書きの「・」のみをつけたりしています。

ご検討いただきまして、後半の全体会で各グループより内容発表していただき、本会議終了後、事務局等でワークシートを整理し、最終版を来年度第1回目の会議で配布できればと思っております。よろしくお願い致します。

沖倉 若干の補足をさせていただきます。

各グループ毎の紙に書かれたことに関して、確認していただければと思います。そのときに資料4、これまでもお出しする機会がなかったものですが、これは都の研修の検討、都の研修で目指している相談支援専門員がどのような姿勢で、どのようなスキルを持って相談支援に取り組むかということ、それも視野に入れていただきながら、お話し頂けると良いと思い、お出ししました。

今やっている作業は抽象度の高い事ではなく、皆さんが日頃相談を受けたり、相談をしたり、当事者の方はそういった場面で何をしているか、具体的にあげていただきたい。資料4のところ七つのスキルを書きいただいておりますが、このスキルというのは具体的に何をすることなのかということを考えていただきたい。それぞれの副会長の進行にお任せいたしますので、ご議論いただけたらと思います。

小林 ありがとうございます。

それでは16時10分までには今の席にお戻りいただきまして、それぞれのグループからご報告いただきたいと思っております。

それではどうぞよろしくお願い致します。